

丸亀市 ため池ハザードマップ

対象ため池
3万トン以上のため池

丸亀市
〒763-8501 香川県丸亀市大手町二丁目3番1号
http://www.city.marugame.lg.jp
丸亀市ため池ハザードマップ 作成日/平成27年3月 丸亀市 産業文化部 農林水産課 Tel: 0877-24-8837 (土地改良担当)

丸亀市 ため池と丸亀市で想定される地震を知ろう

ため池とは?

ため池は、降水量が少なく、流域の大きな河川に恵まれない地域等で、農業用水を確保するために水を貯え取水ができるよう、人工的に造成された池のことです。



香川県とため池

香川県は、気候温暖な地域であり、早くから稲作栽培が始まった歴史があります。しかし、地理的に降雨は少なく、梅雨と台風時に集中している一方、山から海までの河川の長さは短く急勾配なことから水は一気に流下し、河川は河原状態が常であったため、先人たちは水の確保に苦勞を重ねてきました。その結果、現在では14,000余りのため池が築かれ、兵庫県、広島県に次いで第3位のため池数になりました。また、県土面積に対するため池数と池敷面積の比率は全国1位となっています。

南海トラフを震源域とする地震(東南海・南海地震)

香川県内において、過去に大きな被害をもたらした地震は、南海トラフを震源域とする南海地震です。過去に発生した南海地震は、いずれも東南海地震と同時、または東南海地震の発生後2年以内に発生しており、概ね100~150年周期で発生しています。



丸亀市でも直下型地震は起こる

香川県の東部には最新活動時期9世紀~16世紀の長尾断層があります。丸亀平野には活断層の疑いのある「岡田断層」と「上法軍寺断層」があります。それ以外でも平野や海底には未知の断層が隠れている可能性があり、直下型地震は、地震列島日本のなかの香川県ではいつでもどこでも起こる可能性があります。



防災メモ〜いざという時のために家族や地域の方と普段から確認しておきましょう。

非常持ち出し品を備えておきましょう

- 情報収集に必要なラジオ、携帯電話、夜間の避難に必要なライト
- 貴重品(免許証、健康保険証のコピー、現金、通帳、印かん)
- 当番の衣類、タオル、ウェットティッシュ
- (その他) 車手、予備の乾電池、メガネ、ライター、常備薬などの医薬品、乳幼児のある家庭ではオムツ、哺乳瓶 など
- 頭を守るためのヘルメット、防災ずきん
- 3日分程度の食料や水
- 常備薬などの医薬品

避難時の注意点

- 動きやすい服装で、長靴は水が入ると動きにくくなるため、運動靴などにしましょう。
- 持ち出す荷物は最小限に、リュックサック、などを持出し、手は自由にしましょう。
- 状況に応じて2階以上や近所の高い建物へ避難しましょう。
- 移動は徒歩で、車の移動は避けましょう。
- 池や川に近づかない。台風などの大雨時には濁水・はん濫のおそれがあります。
- ロープにつながって、小さい子供は大人とロープをつなぎましょう。
- 高層ビルや身障りの方、高齢者や体の不自由な方に気を配り、避難に協力しましょう。
- 避難所では係りの人の指示に従いましょう。

あらかじめ避難所や安全な避難ルートを確認しておきましょう。

家族(親戚・知人など)の名前	電話番号(会社・学校・携帯)	備考

わが家の避難所

家族の集合場所

非常持出し品の置き場所

いざという時の連絡先(Tel)

丸亀市	代表	0877-23-2111
警察	事件・事故の通報	110 (局番無し)
消防	火事・救助・救急	119 (局番無し)
災害用伝言ダイヤル	災害時の安否情報	171 (局番無し)

防災情報メール(登録無料)
http://info.bousai-kagawa.jp/
避難勧告などの情報が、登録しておくだけで携帯電話のメールなどへ自動的に配信されるサービスです。

丸亀市 ため池の決壊について知ろう

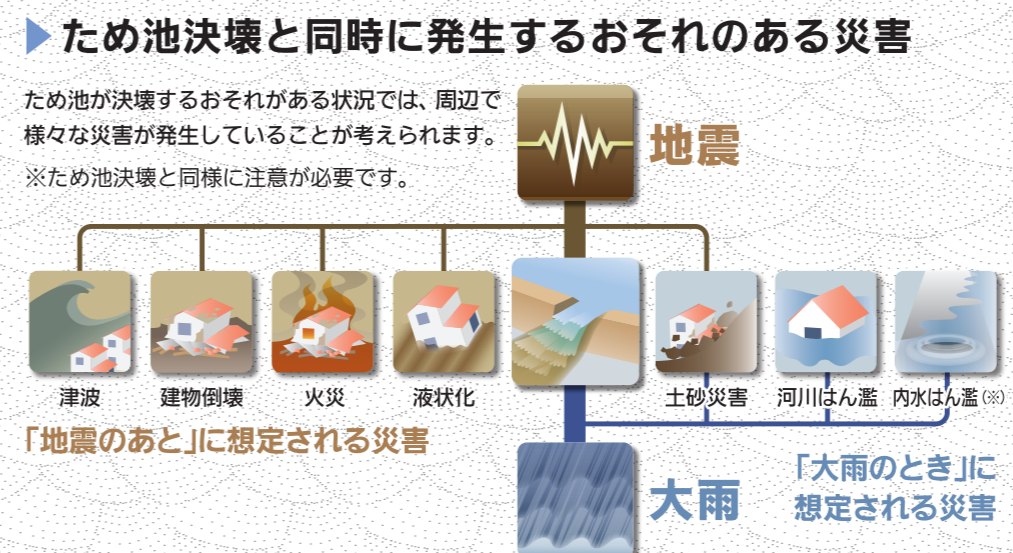
ため池決壊の原因(地震と大雨)

地震

丸亀市では、東南海・南海地震が同時発生した場合、震度6強の揺れが予測されています。また、地震列島である日本では、どこにいても直下型地震が発生する可能性があります。

大雨

近年、短時間に激しく降る大雨(ゲリラ豪雨)が日本各地で増加しています。台風や梅雨時期に雨が降り続けると、ため池の水位が上昇し、ため池決壊のおそれがあります。



ため池決壊の起こり方と災害事例

- 南海地震や直下地震、大雨で堤防が損壊する**
…地震や堤防前面の海嘯高潮から漏水など
- 破損した堤防が、貯水に耐えきれず「決壊」する**
…決壊地点直下の地域の建物や車は押し流される可能性があります。…道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。
- ため池決壊による被害**
…大量の水や土砂が濁流となって、同時に押し寄せます。…決壊地点直下の地域の建物や車は押し流される可能性があります。…道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。

災害事例

■平成23年(2011年)東日本大震災-福島県須賀川市-藤沼池は、震度6弱近い揺れで、盛り土でできたダム(高さ約17.5m)に亀裂が生じ、地震直後に湖北東部の堤の長さ約130mのダムがほぼ全域で決壊した。湖水はほぼすべて流出し、下流で死者・行方不明者8名になった。同様に盛り土で造った近くの羽根ダムでも地震後に亀裂が見つかった。田植え前で湖水水位が高かったことも要因の一つと考えられるという。

【写真出典】Yahoo! JAPAN 東日本大震災 写真保存プロジェクト http://archive.shinai.yahoo.co.jp

■平成23年(2011年)台風2・12・15号-香川県-香川県内のため池が、台風の影響で中山間地域の池を中心に92箇所が損壊、被害額約3億円に上っている。農業者の減少や高齢化で保全管理が十分でなかったことや、中小規模の池を中心とする整備の遅れが被災の背景にあることから、県は池の総覧も含めた防災対策工事を進めている。

丸亀市 避難情報に注意しよう

避難情報を入手するときの注意事項

地震のあと

被災状況(防災行政無線の故障、広報車の通行不可、停電など)により、通常の手段を通じた情報の入手が困難になります。そのことを前提と考え、備前やデマに惑わされず、冷静に対応しましょう。

大雨のとき

大雨時は家屋内にいる場合が多く、防災行政無線や広報車の呼びかけが雨の音で聞こえにくい場合があります。テレビやラジオ、インターネットなどから自主的な情報収集を心がけましょう。

避難情報の伝達経路と内容

災害時には速やかに様々な手段で住民のみなさんに避難情報が伝えられます。

インターネットによる情報収集源

防災に関するインターネットサイトをブックマークしておきましょう。

- 天気予報、警報、注意報、メタデータ情報など(気象庁) <http://www.jma-net.go.jp/takamatsu/>
- ため池について(農林水産省) http://www.maff.go.jp/nousin/bousai/bousai_saigai/b_tameike/
- 最新の地震調査研究について(文部科学省) <http://www.jishin.go.jp/>
- 地震調査研究推進本部 <http://www.jishin.go.jp/>
- 各市町が発表した避難勧告等の避難情報(香川県) <http://www.bousai-kagawa.jp/>
- 防衛白書、国の防災行政に関する(内閣府) <http://www.bousai.go.jp/>
- 防災・危機管理に関する学びの場(総務省消防庁) <http://open.fdma.go.jp/e-college/>

インターネットによる情報収集源

防災に関するインターネットサイトをブックマークしておきましょう。

- 天気予報、警報、注意報、メタデータ情報など(気象庁) <http://www.jma-net.go.jp/takamatsu/>
- ため池について(農林水産省) http://www.maff.go.jp/nousin/bousai/bousai_saigai/b_tameike/
- 最新の地震調査研究について(文部科学省) <http://www.jishin.go.jp/>
- 地震調査研究推進本部 <http://www.jishin.go.jp/>
- 各市町が発表した避難勧告等の避難情報(香川県) <http://www.bousai-kagawa.jp/>
- 防衛白書、国の防災行政に関する(内閣府) <http://www.bousai.go.jp/>
- 防災・危機管理に関する学びの場(総務省消防庁) <http://open.fdma.go.jp/e-college/>

丸亀市 状況に応じた避難をしよう

ため池決壊による浸水の深さを想定した避難の流れ

想定される浸水の深さによって、避難方法は異なります。いざというときに、どのように行動するのか、家族や地域で確認しましょう。

・南海地震や直下型地震が発生したら(2~3日後までは警戒が必須)
・集中豪雨、長雨のとき、避難勧告、避難指示が発令されたら

マップの浸水深 → 自分の家の浸水の深さ(想定) → 判断 → どこへ → どうやって

- 5m以上の浸水**
●3層以上が浸水 ●水流が強い場合には、木造住宅が倒壊する危険がある
必ず **浸水しない場所(避難所、道路、空き地、高台など)**
●身を守る服装
●徒歩で避難
●お年寄りなどの避難に協力を
●事前に避難先を話し合う
→ 防災メモのページも確認しましょう。
- 2~5mまでの浸水**
●2層以上が浸水 ●水流が強い場合には、木造住宅が倒壊する危険がある
必ず **自宅の2階、または危険のない近くの高い建物**
●水、食べ物、簡易トイレ、懐中電灯、ラジオ、貴重品などを2階に持って上がる。
●階建ての建物にお住まいの方や近所のお年寄りは事前に近所の2階以上にある家に避難することもできるように話をしましょう。
→ 防災メモのページも確認しましょう。
- 1~2mまでの浸水**
●床上浸水 ●水の中を歩くことは危険
少なくとも **自宅にとどまる**
●むやみな移動はかえって危険
●屋内避難
→ 指定避難所
屋内の避難所。災害時に収容避難が可能な風雨をしのぐことのできる建物を示します。
※災害によっては使用できない場合もあります。
- 0.5~1mまでの浸水**
●床上浸水 ●強い水流の中を歩くことは危険
必ず **自宅にとどまる**
●むやみな移動はかえって危険
●屋内避難
→ 指定避難所
屋内の避難所。災害時に収容避難が可能な風雨をしのぐことのできる建物を示します。
※災害によっては使用できない場合もあります。
- 0.5m未満の浸水**
●床下浸水 ●浸水の深さがむき上になると、歩行は危険
必ず **自宅にとどまる**
●むやみな移動はかえって危険
●屋内避難
→ 指定避難所
屋内の避難所。災害時に収容避難が可能な風雨をしのぐことのできる建物を示します。
※災害によっては使用できない場合もあります。